

主な検査一覧

知能検査

- WISC-V : 60-90分 (5歳～16歳11ヶ月)
- WAIS-IV : 60-90分 (16歳～92歳11ヶ月)

適応行動・心理検査

- Vineland-II : 60分程度 (0歳～92歳)
- TS式幼児・児童性格診断検査 :
20分程度 (3歳～小6)

その他

- 法人向けのメンタルヘルス事業
- 多人数の性格検査の一斉実施
- チームビルディング研修・講師承ります。ご相談ください。

性格・人格検査

- MMPI : 60分程度 (15歳以上)
- TEG-3 : 15分 (16歳以上)

セルフコーチング

- Points-of-you : 60分程度

SNS

運営サイト

<https://normallife.work/>



Instagramアカウント

@amami.normallife



Facebookアカウント

@normallife・作業療法士

営業時間

※すべて予約制です。

相談等はメールでいつでも行えます。
実際の検査はWEB上で行えるものもありますが対面でないと出来ないものもあります。

月～金曜日: 19:00～21:00 土、日曜日: 終日

☎ 090-7544-9379

✉ amami@normallife.work

〒894-0045
鹿児島県奄美市名瀬平松町447番地

自分らしくを
カタチにしたい



障がいがあっても
なくてもともに
生きていける
奄美を目指して!



心理発達支援

ノーマルライフ

作業療法士 & 公認心理師である私が奄美のために何が出来るのか?
生活の中で生きづらさを抱えるすべての人に、
自分らしく笑って過ごしてもらいたい。それをカタチにした相談室です。

子ども編

育て方が悪い？

もしかして
発達障害？

子どもの
将来のために？

何か特殊能力
がある？

誰にも
相談できない

何が得意で
何が苦手？

うちの子、
何かが違う？

子どもの得意探ししませんか？

おとな編

何か仕事が
上手く行かない

スケジュール
管理ができない

お金の管理が
できない

部屋の片付けが
できない

自分って
発達障害なの？

グレーゾーン
なの？

1

同じ行動を繰り返す人たち

こだわり症・執着症

2

空気が読めない人たち

社会的コミュニケーション障害

3

イメージできない人たち

ASDタイプと文系脳タイプ

4

共感するのが苦手な人たち

理系脳タイプとSタイプ

5

ひといちばい過敏な人たち

HSPと不安型愛着スタイル

6

生活が混乱しやすい人たち

ADHDと擬似ADHD

7

動きがぎこちない人たち

発達性協調運動障害

8

勉強が苦手な人たち

学習障害と境界知能

自分の特性を知って

自分らしく生きる。



作業療法とは

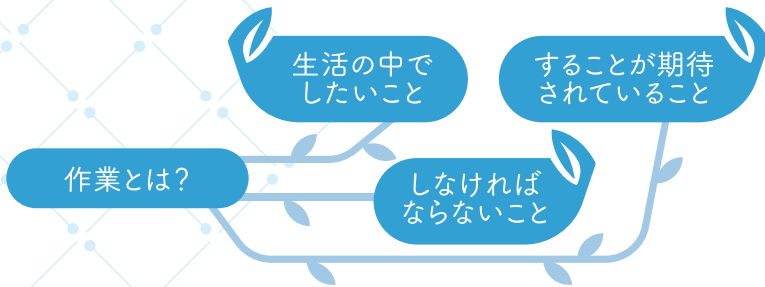
作業療法士が働く場所は様々です。私は高齢者分野で働いていますが、身体障害分野、精神障害分野、発達障害分野と分けられるのが一般的です。

リハビリテーションと言われると、どのようなイメージが浮かぶでしょうか？

おそらく、多くの方は身体機能の改善・治療をイメージすることと思います。

歴史的な背景や、医療保険を利用したリハビリテーションでは、治療の概念が成り立つのだと思いますが、作業療法士の行う業は日常生活活動の改善が主ではありますが、作業という概念はもっと広く、生活の中でしたいこと、しなければならないこと、することが期待されていることを作業と呼びます。

っと簡単に言うと、生活の中の 経験 すべてを作業と呼びます。



作業を行うにあたり、その要素として運動・感覚・心理・社会機能が遂行要素になります。これだけの遂行要素を駆使し生活は行われているのですが、全ての人が同じように経験し、発達する訳ではありません。原因はさまざまですが、ひとの成長過程である学童期においても、この遂行要素の発達には、ばらつきがあります。このばらつきに焦点を当てることのできる専門家が作業療法士です。

それぞれに合わせた向き合い方

基本となる視覚・前庭感覚・固有感覚・触覚・聴覚から姿勢やバランスを取ったり、眼球運動が発達してきます。そして、身体図式(ボディイメージ)が発達し、自分の身体の大きさや形がしっかりとイメージできるようになり、頭の中で自分の身体と動き、工程をイメージする運動企画が発達します。次に、巧緻動作として目で見たとこに正確に手を伸ばすなど、目と手の協応が発達、聴覚の統合から、言葉が発達していきます。

最終段階として「集中力」「自尊心」「自信」「学習能力」などの最終産物へと繋がっていくのです。



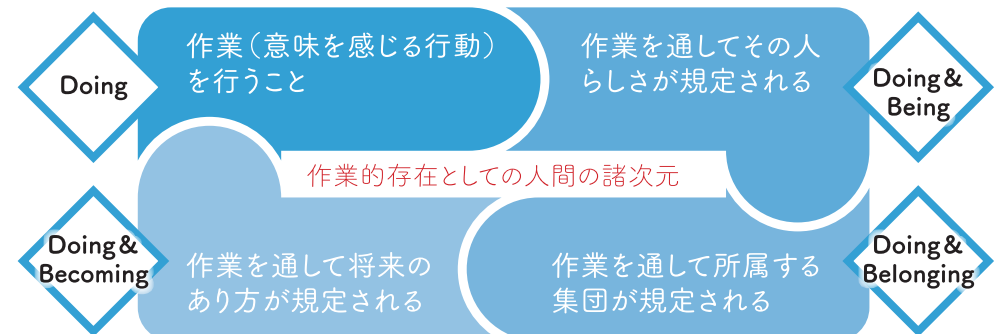
このような過程の中で、バラツキを理解し、生活場面や遊びに取り入れることで、その子にあった成長を支援することができるのです。

たとえば、勉強している最中に立ち上がってウロウロしてしまうお子さんも、実はジーっとしていると脳の活動が止まり、眠くなってしまうのかも知れません。それを起こすために必死になって身体を動かしているとしたら、お子さんは一生懸命勉強したいと思っていることになります。

子どもの発達のバラツキをしっかりと観察し評価していくことが出来るのが作業療法士です。

さらに、その対策を一緒に考えること。それが、生きることの支えになります。

子どもからおとなまで、すべての人の幸福を目指して作業療法士を活用ください!!



セルフコーチングゲーム

POINTS OF YOU®

Creative Tools for Training & Development

自分自身をコーチングするためのツールです。
写真を見て、思いや感情を自分自身のテーマと関連させることで、
自分の中の気づきを発見できます。
発見した気づきに対して、自分自身で改善策を探し、目標とするものです。



メソッド METHOD

ポイント・オブ・ユーを活用することで、人間が本来持っている本質的な能力を引き出すことができます。その能力を引き出すために4つの基本プロセスを提供します。

<p>STAGE 1</p> <p>ポージング</p> <p>休まる機会がなかなか得られない現代社会ではじっくりと能力を引き出す時間を得ることができません。このステージでは、気を休め、自身の持つ能力を引き出すための準備をします。</p>	<p>STAGE 2</p> <p>拡散</p> <p>人間は、本来動物が持つ、聴く能力、観る能力が情報化社会の発展によって形骸化され、著しく低下していると言われています。この能力を引き出すことは、自身を理解する、相手を理解する能力を引き出すだけでなく、自身の持つ能力の限界値を拡げることにもつながります。</p>	<p>STAGE 3</p> <p>収束、気づき</p> <p>自身や相手との対話を通じて、拡散した気づきを明確にしていきます。STAGE2までは右脳への働きかけをしてきましたが、ここでは左脳に刺激を与え、ロジックな思考を活性化させていきます。</p>	<p>STAGE 4</p> <p>行動</p> <p>引き出された能力の鈍度を高めるためには行動が必要です。行動を起こすことで、引き出された能力を自身に根付かせ、更なる限界値に挑むことができます。また行動することで計画の調整が必要となり、STAGE1~4を繰り返すことでバージョンアップしていくことができます。</p>
--	---	--	--

プロフィール

森 悦朗 (もり えつろう)

1977年3月25日 奄美市生まれ

聖母幼稚園→奄美小学校→小宿小学校→小宿中学校
→大島工業高校→メディカルトレーナー専門学校
→リハビリテーションカレッジ島根



資格等

作業療法士(国家資格)
介護支援専門員
公認心理師(国家資格)
Points of You® Explorer

その他の経歴

奄美看護福祉専門学校非常勤講師
介護支援専門員法定研修講師

ごあいさつ

私は作業療法士として介護老人保健施設に勤務し、高齢者へのリハビリテーションを主な業務としてきました。

介護施設内での行われるリハビリテーションは専門職一人で行うものではなく多職種が協働して行う部分が多く、在職中に福祉住環境コーディネーターや介護支援専門員資格を取得しチームマネジメントの経験も積みました。
高齢者を専門にチームマネジメントを行ってききましたが、自身が子育てをする中で、保育園や小学校へ通う子ども達の中に、発達障害と診断される程ではないが、日常生活を送ることに不便を抱えている子ども達(グレーゾーン)が多くいることを知りました。
作業療法士は発達障害に対するリハビリテーションの専門家であるにも関わらず、奄美大島においてはその分野で働く人も場所も少ないことに気付きました。さらに、発達支援分野においては、保育士や臨床心理士、学校教諭等の資格を持った方々が、学校、特別支援学級、放課後デイサービス、学童保育等さまざまな場所で支援が行われているのが現状です。
生きづらさを抱えた子どもや成人に対して、心理的アプローチや生活面の助言を行う作業療法士が地域で活躍することは、奄美大島の未来を守り、地域を支える事業になると考えます。また、発達障害と診断されずに生きづらさを抱えたまま障がいがあってもなくてもともに生きていける奄美"ま成人した、グレーゾーンの方々"は職場でも他職員とのコミュニケーションに困難さを抱え、今なお生きづらさや不安を抱えていると言われています。
そのような方々への支援として、カウンセリングや心のケアを行う場所も非常に少ないのが現状です。
公認心理師という専門性を活かし、目に見えない障害を抱える、全世代を支える事業を生み出し、障害があってもなくても同じ地域で共に暮らして行くことのできる社会(ノーマライゼーション)の実現に寄与したいと考えています。
"障がいがあってもなくてもともに生きていける奄美"を目指して。